

## 緊迫する国会と誕生日

わたしは1948年9月17日、この世に生を受けた。15年にわたる侵略戦争が終わり、3年1ヶ月ばかりの戦後混乱期である。このところ誕生日が来ても「またか」と感慨にふけることもなく、1日が過ぎて行った。でも今年は何んだか違う。退職して2年目で、残りの人生をどう歩むか考えることも多くなった。じっくり人生を考える余裕ができてきたかもしれない。それ以上に、わが誕生日が気になるのは「戦争法案」といえる安保法案が、国会で採決が強行される時が迫っているからだ。まさに歴史に残る日が誕生日になりかねない。誕生日が嬉しいどころか、なんとも悲しい。

戦後の混乱のなかで生まれ、これまで生きてきた者として、憲法をないがしろにする「アベ政治は許せない」。せつかくの機会なので、記憶を遡ってみよう。生まれ育ったのは、名古屋市千種区千種区本町1丁目。昔の「国鉄千種駅」に近く、飯田街道沿いにあった「鉄道官舎」が住まいだった。2階建ての細長い木造「長屋」で、2階角の部屋に住んでいた。窓からサッポロビールの工場の煙突が見えた。トイレ・洗面所は共用であり、2間の狭い部屋だったが、近所づきあいは盛んだった。

とにかく生まれた時から病弱で、病院通いばかりのようであった。名古屋駅西近くの「鉄道病院」に母に連れられて行った記憶がかすかに残る。戦後の闇市が残っており、バラックの家が建っていた。医者からは10歳くらいまで生きられるかなどと宣告されたそうだ。重症の肺炎になったが、高価な「ペニシリン」で生きながらえた。給料大半をつぎ込んだと言われたものだ。両親には迷惑ばかりかけたが、なにも「恩返し」らしきこともできなかった。今は悲しい。



写真上は鉄道官舎時代に友だちと撮ったものだ。虚弱体質だったが、背だけは伸びていった。それと「頭でっかち」であった。怖い話がある。幼き頃、頭が重いためか2階の窓から真っ逆さまに落ちた。下を通りかかった人が受けとめてくれたという。わたしは記憶にまったくないが、母から何回も話を聞かされた。昔の写真を見ると、帽子が頭にあっていない。今でも帽子は、最大サイズ「5L」だ。偶然にも「5L」を常備している帽子屋さんを駅西で見つけ、帽子を愛用している。



こんな話を書いていくと、長くなる一方だ。どうも国会の動きが気になる。千種幼稚園から千種小学校、高見小学校へと進む。千種小学校4年の時に、忘れもしない伊勢湾台風を経験。もうすぐ9月26日だが、伊勢湾台風についてはレポートに何回か書いている。親父は鉄道マン（当時は名古屋機関区）なので、中2の時に高山に引越した。その後も郡上などを転々とする。高山の斐太高校から郡上高校へ転校し、信州

大学、そして大阪市大へと進む。10年ほど前に、幼き頃から高校あたりまでの「悩み多き」人生についてレポートしている。

とにかく、この年までなんとか元気に生きられ（わたしより若い優秀な人材が亡くなるのは辛い）、こうして「情報」発信できるのは幸せなことだ。幼い頃から、「弱いものいじめ」には腹が立った。自分が弱く、いろいろ悩みを抱えていたためだ。

時の権力に「抵抗する」気持ちだけは持ち続けてきたつもりだ。どう考えても、今の「アベ政治は許せない」。

(2015年9月17日)